

研究名： 構造化用語辞書と自然言語処理による電子カルテ所見情報の 高次構造化の検証

1．研究の目的

近年、電子カルテ情報がデータベース化され、医療ビッグデータとして様々な医療分野における研究に利活用されています。これまで利活用されている医療情報は構造化データと呼ばれるデータですが、それらの情報だけでは情報量の不足により研究の目的を達成することが難しい場合が少なくありません。情報量の不足を補う方法として、電子カルテ情報の非構造化データである医師や看護師の所見情報に対して、自然言語処理と構造化用語辞書を用いた意味づけ作業を施すことにより、非構造化データの利活用が可能になることが期待されています。

本研究は、ロイコトリエン拮抗薬が処方された患者さんにおけるアナフィラキシーの原因調査を研究対象として、所見情報に対する自然言語処理・意味づけ作業の有用性検証、個人情報除外の安全性検証、所見情報に対する自然言語処理・意味づけ作業の汎用性検証の3つを検証することを目的とします。

本研究の成果により、医療ビッグデータを用いた研究の場において、非構造化データである所見情報の利活用が、これまでの構造化データだけでは対応できなかった課題を乗り越える手段となることが期待されます。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2019年1月～2020年12月までにロイコトリエン拮抗薬を処方された0歳以上15歳未満の方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月

研究方法：電子カルテ情報データベースの情報を遡及的に分析します

3．研究に用いる情報の種類

患者さんのカルテ番号、カルテ記載時年齢、カルテ記載日、カルテ記載記事、入外区分、保険区分、診療科等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る個人情報は調査対象ではなく、カルテ番号は暗号化された状態で研究に用いますので、**個人情報は保守されます。**

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。患者さん個人が特定されることはありません。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2024年4月30日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 臨床研究センター 多施設連携部門
ネットワーク推進ユニット 中野 孝介（担当者氏名）
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：5041）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 臨床研究センター 多施設連携部門
ネットワーク推進ユニット 中野 孝介（責任者氏名）